



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,526	6.2	499	5.9	516	7.5	314	10.0
26年3月期第2四半期	4,261	1.0	471	△12.3	480	△12.4	285	△13.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 362百万円 (21.6%) 26年3月期第2四半期 298百万円 (△2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	95.20	—
26年3月期第2四半期	86.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,724	9,398	72.5
26年3月期	12,216	9,109	73.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,221百万円 26年3月期 8,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	7.4	1,160	9.5	1,180	9.1	710	6.0	214.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	3,601,681株	26年3月期	3,601,681株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	298,250株	26年3月期	298,250株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期2Q	3,303,431株	26年3月期2Q	3,303,663株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策の効果により株価の上昇、円高の是正が進んだことを受け、公共投資や輸出関連企業の業績が回復しつつあり、緩やかではありますが景況感が改善を見せてまいりました。しかしながら、電気料金や燃料等のエネルギーコストの上昇や外交問題など多くの課題を抱えており、景気の下ぶれリスクが懸念されています。

当社グループを取巻く環境は、高齢者人口の増加を背景にヘルスケアのニーズが拡大し、その対応を期待されておりますが、医療保険や介護保険の改正・改定等、政策サイドの意向が今後も大きく影響するものと思われまます。また、医療及び介護福祉へのサービスの多様化と経営の効率化が求められ、引続き厳しいものとなっております。

このような環境のもと、当社グループは、いち早く在宅医療・介護等の領域に力を注ぎ、成長戦略における重要な柱として、「病院完結型」から「地域完結型」への転換に即した柔軟な経営並びに社会貢献を念頭に、在宅医療や介護福祉など多岐にわたる分野において、営業力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は4,526百万円（前年同四半期比6.2%増）と増収を確保し、利益面でも、連結営業利益は499百万円（前年同四半期比5.9%増）、連結経常利益は516百万円（前年同四半期比7.5%増）、連結四半期純利益は314百万円（前年同四半期比10.0%増）と増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、薬剤や医療機器の進歩、並びに患者様の身体的負担を軽減する医療技術の浸透などにより、術後のケアが短期間となり、従来に比べて入院日数が減少していることから、医療用ガスの消費量は鈍化の傾向にあります。

このような環境を踏まえ、医療用ガスの生産性と収益性のバランスを考慮し、新規取引先の開拓と既存取引先への高付加価値サービスの提供に注力した結果、売上高は1,668百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は188百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、当社グループが、以前より重点的に注力しており、当社の収益源の要の一つとなっております。HOT（在宅酸素療法）等の診療報酬改定は2年毎に行われますが、2010年以降は報酬の改定がなく、2016年度の診療報酬化指定でダウンが予想されております。

このような状況を踏まえ、お客様からの信頼を獲得し、継続的な成長を図ってまいりました。また、CPAP（持続陽圧呼吸療法）と人工呼吸器のレンタル台数も好調に推移した結果、売上高は1,730百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益は289百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、メンテナンス・工事の両部門において、医療機関の耐震補強工事及び老朽化による増改築工事の需要が継続しており、一層の営業努力を継続したことなどから、売上高は493百万円（前年同四半期比45.6%増）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、在宅並びに医療機関や施設等へ取扱商品の販売やレンタルを行っております。販売部門につきましては、需要の取込みが落ち着き、大型物件の販売は減少しましたが、取扱商品のラインナップを増やし幅広く販売することに努め、レンタル部門は引続き堅調な推移となっております。

また、今後の需要増大の観点から、訪問看護・居宅介護支援事業として、平成26年8月に「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）を開設し、顧客ニーズへの対応と事業の拡大に努めました。

これらの結果、売上高は208百万円（前年同四半期比5.2%増）と増収でしたが、利益面では商品構成の変化による粗利率の低下や新規事業の先行投資負担などから、セグメント損失5百万円（前年同四半期セグメント利益23百万円）となりました。

⑤施設介護関連事業

有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」(東京都杉並区)はご入居者様、ご家族様に「安心」と「安全」を提供し、他施設との差別化を図るため、継続的な営業努力を行っております。

また、高齢化社会への対応として、通所介護施設「あしつよ・文京」(東京都文京区)に引続き平成26年2月に「あしつよ 巣鴨」(東京都豊島区)を開設し、事業の拡大に努めました。

これらの結果、売上高は137百万円(前年同四半期比10.2%増)と増収でしたが、利益面ではセグメント損失35百万円(前年同四半期セグメント損失31百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は12,724百万円(前連結会計年度末比508百万円増)となりました。これは、現金及び預金が426百万円、有形固定資産が83百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は3,326百万円(前連結会計年度末比219百万円増)となりました。これは、支払手形及び買掛金が227百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は9,398百万円(前連結会計年度末比289百万円増)となりました。これは、四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が239百万円、その他有価証券評価差額金が44百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益519百万円や減価償却費199百万円に加え、仕入債務の増加による収入227百万円、法人税等の支払額198百万円等により、716百万円の収入(前年同四半期比343百万円の収入増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出85百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入105百万円等より、2百万円の収入(前年同四半期は137百万円の支出)となりました。

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出133百万円、長期借入金の返済による支出58百万円、配当金の支払99百万円により、291百万円の支出(前年同四半期比31百万円の支出増)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より426百万円増加し6,301百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法についても、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が39,468千円増加し、利益剰余金が24,303千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,918千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,874,716	6,301,525
受取手形及び売掛金	1,613,729	1,576,607
たな卸資産	106,388	159,620
繰延税金資産	77,160	77,013
その他	79,634	79,133
貸倒引当金	△5,343	△5,250
流動資産合計	7,746,286	8,188,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	608,219	588,168
土地	1,870,975	1,870,975
その他(純額)	703,669	807,037
有形固定資産合計	3,182,864	3,266,181
無形固定資産	72,413	58,035
投資その他の資産		
投資有価証券	593,406	571,779
その他	623,222	641,827
貸倒引当金	△1,660	△1,683
投資その他の資産合計	1,214,968	1,211,923
固定資産合計	4,470,246	4,536,140
資産合計	12,216,533	12,724,790
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,418,084	1,645,822
1年内返済予定の長期借入金	117,683	58,865
未払法人税等	210,117	193,873
賞与引当金	86,700	87,000
その他	616,547	594,799
流動負債合計	2,449,132	2,580,360
固定負債		
役員退職慰労引当金	416,340	456,240
長期預り保証金	12,151	6,906
その他	229,866	283,235
固定負債合計	658,358	746,381
負債合計	3,107,491	3,326,742

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	8,420,756	8,660,458
自己株式	△510,742	△510,742
株主資本合計	8,859,902	9,099,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,563	94,056
退職給付に係る調整累計額	30,064	27,488
その他の包括利益累計額合計	79,627	121,545
少数株主持分	169,511	176,898
純資産合計	9,109,041	9,398,048
負債純資産合計	12,216,533	12,724,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,261,970	4,526,508
売上原価	1,996,248	2,222,115
売上総利益	2,265,721	2,304,392
販売費及び一般管理費	1,794,371	1,805,129
営業利益	471,349	499,263
営業外収益		
受取利息	1,851	△54
受取配当金	6,917	6,348
受取保険金	-	8,464
その他	3,987	4,764
営業外収益合計	12,756	19,522
営業外費用		
支払利息	3,403	1,910
その他	-	64
営業外費用合計	3,403	1,975
経常利益	480,702	516,810
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,721
特別利益合計	-	2,721
特別損失		
固定資産除却損	-	181
特別損失合計	-	181
税金等調整前四半期純利益	480,702	519,351
法人税等	191,741	200,814
少数株主損益調整前四半期純利益	288,960	318,537
少数株主利益	3,086	4,035
四半期純利益	285,874	314,501

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	288,960	318,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,411	46,821
退職給付に係る調整額	-	△2,555
その他の包括利益合計	9,411	44,265
四半期包括利益	298,372	362,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294,810	356,419
少数株主に係る四半期包括利益	3,562	6,383

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	480,702	519,351
減価償却費	196,927	199,505
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	42,900	39,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	568	△70
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,700	300
有形固定資産除売却損益(△は益)	-	181
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△2,721
受取利息及び受取配当金	△8,768	△6,294
支払利息	3,403	1,910
売上債権の増減額(△は増加)	268,486	37,096
たな卸資産の増減額(△は増加)	33,735	△53,231
仕入債務の増減額(△は減少)	△283,937	227,737
その他	△107,255	△53,057
小計	583,062	910,607
利息及び配当金の受取額	10,121	6,773
利息の支払額	△3,377	△1,882
法人税等の支払額	△216,378	△198,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	373,427	716,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,648	△85,242
投資有価証券の取得による支出	△11,456	△30,728
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	105,661
長期貸付金の回収による収入	3,559	5,988
その他の収入	346	20,471
その他の支出	△15,024	△14,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,224	2,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△135,174	△133,876
長期借入金の返済による支出	△58,818	△58,818
自己株式の取得による支出	△193	-
配当金の支払額	△66,156	△99,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,342	△291,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,139	426,808
現金及び現金同等物の期首残高	5,643,150	5,874,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,619,010	6,301,525

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,631,639	1,644,318	338,946	198,238	125,176	3,938,319	323,650	4,261,970
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	31,043	—	—	31,043	—	31,043
計	1,631,639	1,644,318	369,989	198,238	125,176	3,969,362	323,650	4,293,013
セグメント利益 又は損失(△)	161,100	267,967	14,791	23,086	△31,666	435,280	41,791	477,071

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内
容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	435,280
「その他」の区分の利益	41,791
セグメント間取引の消去	△5,721
四半期連結損益計算書の営業利益	471,349

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,668,967	1,730,207	493,407	208,549	137,983	4,239,115	287,393	4,526,508
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	18,151	—	—	18,151	—	18,151
計	1,668,967	1,730,207	511,558	208,549	137,983	4,257,266	287,393	4,544,659
セグメント利益 又は損失(△)	188,396	289,473	17,201	△5,010	△35,039	455,020	46,501	501,521

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	455,020
「その他」の区分の利益	46,501
セグメント間取引の消去	△2,258
四半期連結損益計算書の営業利益	499,263

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。